

# みつばちかふえがオープンしました!



＊第1回〔1月30日(火)〕



＊第2回〔2月14日(水)〕

待ってるでね〜



(生活支援員 三澤 和代)

誰もが気軽に集える場「みつばちかふえ」が  
まりました。茶話会やレクリエーションなどを行  
い、高齢者や家族など地域住民のどなたでも参加  
できる居場所です。よろず相談会も同時開催して  
おり、専門職による悩み相談も出来ます。第一回  
目は、松本大学名誉教授の犬飼己紀子氏からフィ  
ンランド発祥のニュースポーツ「モルック」の楽  
しみ方、コミュニケーションについて学びました。  
モルックでは、チームが一致団結!歓喜の声が上  
がり、盛り上がりました。第二回目は、茶話会と  
防災に関するクイズとゲームを行いました。初対  
面の方同士の交流も出来ました。「みつばちかふえ」  
でみんなと一緒に楽しい時間を過ごしましょう!

## あがたの森



第三地区

令和6年3月1日現在	
総世帯数	2,059世帯
総人口	4,157人
男	1,982人
女	2,175人

### 飾り巻き寿司講座

2月15日(木)公民館主催で「飾り巻き寿司講座」  
が開催されました。今回はひな祭りに向けてお雛様と  
桃の花の飾り巻き寿司に挑戦しました。各々でご飯に  
色を付け、細かなパーツを組み合わせて海苔で巻いて  
いきました。切った断面はとても綺麗な絵柄になっ  
ていて、見て楽しい食べて  
美味しい飾り巻き寿司が  
出来上がりました。



### 集いの場 居酒屋公民館

居酒屋公民館は、公民館を利用する機会のない方に  
も気楽に来ていただけるように、令和5年7月21日  
(金)に公民館事業として立ち上がりしました。緩やか  
につながる場として多くの人が参加できる時間にし、  
毎回20名余りの参加をいただき大盛況です。参加者の  
皆さんからの料理・スイーツの差し入れや各自持参の  
日本酒・焼酎・ビール等を飲み、ほろ酔い気分で「飲  
みにケーション」の  
楽しい会です。特に  
武井公民館長の手料  
理の多さは驚きで、  
コロッケは絶品!多  
くの皆さんが食して  
いました。毎月の開  
催日は公民館だより  
に載せてあります。  
どなたでも参加でき  
ます。お気軽にお越  
しください。



(居酒屋店主)

今年元旦に起きた能登半島  
の地震は、地域のコミュニ  
ティの繋がりがいかに大切か  
を再認識する機会となった。  
今回のように夕方の被災の場  
合、指定避難所は暗いと点検  
が出来ず開設されない。被害  
が大きい場合、一番身近な  
人々で助け合いながら数日を  
乗り切るしかない。それには  
普段から隣近所のお互いの顔  
を知っていて、どのような家  
族構成なのか前もって把握し  
ておく必要がある。しかし、  
今は町会未加入世帯も増えて  
きて、つながりを望まない人  
も増えている。とても難しい  
が、普段からの備えは必要だ。  
町会の防災は、いざという  
時の避難を自分事としてとら  
える意識改革と、多様性を認  
めながら、緩やかな負担感の  
ないつながりを作り出す工夫  
が必要だと思う。

(降旗 都子)



## 湧き水

# 中学生になったら

4月から新一年生になる2名に、中学生になる抱負を伺いました。

私は中学生になったら力を入れたいことが二つあります。

一つ目は音楽です。私は小学四年生から金管バンドに入っていました。六年生の時には色々な賞をもらい、沢山ステージに上がれるような技術を身につけることができました。なので、これからも音楽を続けたいと思います。

二つ目は新しい出会いです。中学生になったら、新しい同級生、先輩や先輩に出会います。自分から話しかけて友達を増やしたいし、信頼できる先生や先輩を作って楽しい学校生活を送りたいです。

この二つを目標に、充実し  
〈清水小学校 六年 澤渡 咲空〉



私が中学生になって学びたいことは、人間関係です。中学に行くと、新しく出会う友達や先輩がたくさんいるので、仲良くなれるか不安ですが、中学で学ぶことがこれからの社会の役に立てるよう、人間関係を学んでいきたいと思っています。

〈源池小学校 六年 水島 莉乃〉

二つ目は、中学校の伝統です。先輩たちが作りあげてきた伝統を学び、それをしっかりと守り続けていきたいと思っています。最初は不安なことばかりだと思ふけど、中学校のことを知り、学んで楽しい学校生活になればいいと思います。

た中学校生活を過ごしたいです。

## 町内公民館長会 視察研修

2月20日(火)に第三地区町内公民館長会主催の視察研修が行われ、真田邸、松代藩文武学校、長野県立美術館を訪れました。美術館では東山魁夷が若い頃の生活様式を描いた絵や、萩原礫山の「女」が印象的でした。松代の街並みや、善光寺周辺をゆっくり散策することができ、どこを歩いてもカラスの落し物が見られず、気持ち良く散策ができました。私たちのあがたの森も、訪れる人が気持ちよく歩ける環境になって欲しいものです。

(四ツ谷町 三代澤 英明)



長野県立美術館にて

## 第三地区福祉ひろばは、地域づくり

「またひろばで会おうね。」や「絵本に親しむお話の会」そんな言葉をよく耳にする「わらべうたで歌おう」など第三地区福祉ひろば。ふれあい健康教室・カラオケ倶楽部・童謡唱歌を歌おう会・健康麻雀などのひろば事業があります。他地区に比べ男性の参加者が多く、年に2回行われる「男の料理教室」では、40〜50人の男性が驚きのチームワークで美味しい料理を作り、親睦を深めています。月に1回の子育て支援おひさまキッズでは、四季折々の行事



男の料理教室



おひさまキッズ



ひろばまつり